

第44回石川県少年少女柔道大会要項

- 1、目的 柔道を通じて、少年の心身の健全育成に努めるとともに、親睦と友愛を深め、少年スポーツの振興に努める。
- 2、主催 石川県柔道連盟
- 3、主管 全日本柔道少年団石川県連合分団
- 4、後援 石川県・北國新聞社
- 5、日時 令和元年11月10日(日) 午前 9時00分 開会式
- 6、会場 石川県立武道館 金沢市小坂町西8番の3 TEL 076-251-5721
- 7、参加資格 (1) 団体戦、個人戦とも石川県内の小学生から中学生の児童・生徒であって、全日本柔道少年団石川県連合分団に加入した団体で競技者登録をしている者。
(2) (財)全日本柔道連盟に団体登録したチームであること。
(3) (2)について、「全日本柔道連盟競技者登録」番号が重複していた選手については出場を認めない。
(4) 1分団(1道場1分団)1チームとし、混成チームは認めない。
(5) 団体戦は男女を問わない。
(6) 一旦提出されたオーダーの変更は認めない。但し、やむを得ない事情で出場できない者が出た場合は、前日の午後6時までに事務局へFAX又はメールで申し込むこと。但し、個人戦の変更は認めない。
(7) 団体戦の補欠選手は6名までとする。
(8) 参加者は背中に縦25～30cm横30～35cmの大きさで所属の団体名及び氏名を記入したゼッケンを必ずつけること。ただし、中学生の所属名は問わない。
(9) ゼッケンの書体は太いゴシック体又は楷書で男子は黒色、女子は赤色とする。
(10) 縫い付けの場所は後ろ襟から5～10cmのところとする。
(11) 事故が発生しても主催者は責任を負わない。参加団体は傷害保険等に事前に加入するなどの対策を講じておくこと。
(12) 試合のために選手の学年詐称や一時的な所属変更は教育的に良くないので、出場を認めない。
- 8、団体選手編成 (1) 下記のとおり行方が事故防止のため、同学年の場合は体重の軽い者から順に編成する。
- | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 先鋒 | 次鋒 | 五将 | 中堅 | 三将 | 副将 | 大将 |
| 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 6年生 |
- (2) 下学年の選手が上学年に出場することは差し支えないが、1学年差までとし、学年順に編成する。但し、幼稚園児の出場は認めない。
- 9、個人戦 (1) 個人戦は男女別とし、4年生以下の出場は認めない。
(2) 出場選手は小・中学男女を問わず、合計12名とする。但し、中学3年生はその数に含まない。
(3) 小学男子個人戦は3階級(軽・中・重量級)で行う。
(4) 小学女子個人戦は2階級(軽・重量級)で行う。
(5) 中学男子個人戦は2部門に分けて行う。なお、同日中学校体育連盟主催の選抜強化遠征会があります。1、2年生は考慮しエントリーすること。
(6) 中学女子個人戦は学年、体重、段位は問わない。なお、同日中学校体育連盟主催の選抜強化遠征会があります。1、2年生は考慮しエントリーすること。
- 10、試合方法 (1) 団体戦はトーナメント戦で1・2・3部制とする。
■ 1部: ベスト8のチーム
■ 2部: ベスト16のうち1部の8チームを除いた8チーム
■ 3部: 1・2部以外のチーム

- (2) 個人戦はトーナメント戦とする。但し人数が少ない場合はリーグ戦と決勝トーナメント戦とする。
- (3) 判定基準は、「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない又は、同等の場合は、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
 - ① 団体戦は1差であれば「引分」とする。
 - ② 個人戦は1差であれば旗判定により、勝敗を決する。GSは実施しない。
- (4) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ① 団体戦の勝敗はチームの勝者数が多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「1本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちにする。
 - ④ ③で同等の場合は、引分同士とし複数の場合は抽選で選出し、代表戦で勝敗を決する。
 - ⑤ 代表戦においては、通常の2分間の試合を行い、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は、旗判定で勝敗を決する。GSは実施しない。

11、試合時間

- (1) 小学生は団体・個人戦ともに2分間＝ロスタイム有り。
- (2) 中学生は3分間＝ロスタイム有り。

12、競技規則

国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020)「少年大会特別規定」により行う。

13、組合せ抽選

- (1) 日時 令和元年10月19日(土) 午後2時00分 開始
- (2) 場所 白山市知気寺町9-3 鶴来坂田道場内

14、参加申込日

令和元年10月6日(日)必着 所定申込用紙で、下記宛に郵送またはメールで申し込むこと。

15、申込先

【申し込み先】 〒921-8813 石川県野々市市住吉町23-35
 大会事務局 西 剛史 宛 TEL076-294-1646
 メールアドレス nonoichijudo@yahoo.co.jp

16、参加料

団体戦 1分団 5,000円、個人戦 1分団 5,000円、当日徴収

17、表彰

- (1) 団体・個人戦は第1位から第3位まで表彰する。但し、団体3部は第1位及び第2位のみ表彰する。
- (2) 団体戦の持ち回り賞典について
 1部 優勝 優勝旗(昨年鶴来坂田) 2部(昨年七尾)及び3部(昨年県武)は優勝盾

18、受付時間

8時～8時30分までに団体受付、及び団体選手(団体の補欠選手を含む)の体重測定を終えること。

19、審判員

- (1) 出場団体は1名以上の審判員を出すこと。
- (2) 審判順は団体戦の初戦は次回及び次々回の団体とし、2回戦以降は次回及び前試合団体とする。個人戦については、各会場別割振表に基づき実施する。

20、審判監督者会議

令和元年11月10日(日) 午前8時30分～ 武道館2階会議室

21、道場入場者

試合会場には大会役員、会場係、審判員、監督、コーチ及び選手以外の入場は認めません。また、服装は審判服に準じたものとする。

22、その他

- (1) 柔道ルネッサンスの普及及び徹底
- (2) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて
 - ① 参加申込書に記載された個人情報
 大会プログラム、競技会場の掲示板に掲載されます。
 - ② 競技結果(記録)等
 報道機関により、新聞等(写真を含む)で公開されることがあります。
 上位入賞の結果は、次年度以降の大会プログラムに掲載されます。
 ※大会申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応いたします。

- (3) 試合場におけるコーチの振る舞いについて留意してください。
- (4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会へ出場ができない場合もある。
- (5) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守すること
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (6) 各チームの監督並びに帯同審判員は昼食を支給します。

以上